



社団法人 日本コントラクトブリッジ連盟 普及事業部

●笑顔がはじけた「9/19 ビギナーズ杯@高田馬場BC」 延べ93名参加！

3年前のNECブリッジフェスティバル普及イベントとして初めて開催した普及事業部主催の「ビギナーズ杯」…試合様式に慣れていない初心者の方への「やさしい」気配りや全員にプチ賞品をお持ち帰りいただくことでも好評の初心者大会です。今年に入り、NECブリッジフェスティバル以外では5月の横浜BCに続き、2回目の開催でしたが、午前10テーブル、午後13テーブル、延べ93名(内、一般22名)の△5MPプレイヤーの皆様が参加され、今回もおおいに盛り上がった大会になりました。各セッション18ボードをプレイし、予定時刻をそれほど遅れることなく終了。結果発表では皆さまおおいに盛り上がってまるでパーティーのようでした！プレゼントを手に、「楽しかった、ありがとう！」と言って笑顔で帰途につかれるのを見送る我々スタッフも笑顔でした。なかでも、試合はまったく初めてという、始められて未だ一年もたっていないご夫妻が「わざわざ埼玉からやってきて良かった！とても楽しかった！」と言ってくださった時は、本当に嬉しく思いました。



[参加者数]延べ93名

午前 41名(会員34名、一般7名)

午後 52名(会員37名、一般15名)

[競技] 各セッション2ボード×9ラウンド、計18ボードをプレイ。会員のMPは自動登録されています。非会員にはFMP証を発行しました。

●「第3回長崎居留地まつりブリッジ大会新人戦」も大成功でした！

9月18日、「日本一ブリッジが似合う素敵な洋館」と主催者の長崎ブリッジ＆チェスクラブの皆様が胸をはる重要文化財・旧香港上海銀行で開催された△50／△20／△5のSTF形式新人戦は、県外から16名、県内から20名の計36名が参加、皆様に大変喜んでいただけて大成功だった、とのことです。長崎ブリッジ＆チェスクラブのウェブサイト(www1.ocn.ne.jp/~chikyu/settlement_festival/bridge2010.jpg)にも大会の様子が写真入りで紹介されています。

●予告①：次回ビギナーズ杯は来年2月「NECブリッジフェスティバル」！

次のビギナーズ杯は、NECブリッジフェスティバル期間中の2011年2月11日(祝・金)と12日(土)の2日間。各日とも、これまで1回もゲームに出したことのない方のデビューゲーム「デビュータント杯」と「ビギナーズ杯△5」「ビギナーズ杯△20」の3ゲームを開催します。初心者を指導中のブリッジ・インストラクターの皆さま、「2月に出て優勝をめざそう！」、あるいは「ゲームデビューめざしてがんばりましょう！」など、このNECBFでの初心者大会に参加することが、生徒さん達がブリッジ続けるにあたっての身近なゴールになるよう、そして励みになるよう、役立てていただければ幸いです。大会詳細は順次ご案内してまいります。

●予告②：全国の初心者を対象に2つのプレゼントプログラムを実施します！

これまでNECブリッジフェスティバル「ビギナーズ杯」をはじめとする普及事業部主催「ビギナーズ杯」は、諸般の状況からどうしても首都圏在住の初心者を対象としたものでした。また、首都圏以外の地方で開催されている初心者向け大会に他の地方の初心者が参加することも、よっぽど強力なリーダーに引っ張られて(あるいは「押されて」)、といったことがない限り、「動機」の面からも「費用」の面からも最初の一歩を踏み出すにはなかなか難しいものがあることでしょう。普及事業部の今回の企画はそのハードルを少しだけ下げるお手伝いをして、全国でたくさん自分たちと同じ初心者がいるのだと知っていただき、「旅とブリッジ」の魅力を体験していただくことで、さらにブリッジを好きになっていただこうというプログラム2種です。概要をご紹介します。

※首都圏とは、東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県を指します。

※詳細は10月末発行のJCBL会報4号をご覧ください。

(会報配布と同時にJCBLウェブサイトに掲出します。)

★プログラムA:2011年『NECブリッジフェスティバル“ビギナーズ杯”』招待プレゼント

首都圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)と海外を除く全国を9ブロックに分け、△20MPの希望者を抽選で各ブロック1ペアずつ、2011年2月のNECブリッジフェスティバル「ビギナーズ杯△5または△20」に1泊2日でご招待するというプログラムです。

★プログラムB:「ノービスにて九州へ行こう！」

首都圏在住の初心者対象です。11月と12月に四谷BC、横浜BC、大船BC、京葉BCで開催されるノービスゲームの参加者から3名(プラス任意のパートナー)を抽選で2011年3月、福岡のリジョナル併催新人戦に1泊2日でご招待するというプログラムです。

●フィラデルフィアでワールドブリッジシリーズ開催中！

2010年「ワールドブリッジシリーズ」が10月1日から16日まで、米国フィラデルフィアで開催されています。同大会は、WBFが4年に1度主催する世界最大規模の競技会で、13回目の今年は49の国と地域から1000名を越える選手たちが参加。日本からも20名の選手が世界の強豪と熱戦を展開しています。約2500万人のブリッジ人口を擁するアメリカでの開催とあって注目度も高く、開会式には両親がブリッジ愛好者というオバマ大統領からの祝辞も寄せられました。同大会では、優勝するとワールドチャンピオンの称号が与えられる8種類の本戦のほか、6種類のサイドゲーム、地元プレイヤー向けの試合など多岐にわたる試合が16日間の会期を通して連日行われています。

●「ワールドユースチーム選手権」に日本代表ユースチームを派遣しています。

ワールドブリッジシリーズに併催の形で、26歳未満のユースチーム世界一を決める「第13回ワールドユースチーム選手権」が10月10日から同じ会場で始まっています。同選手権は、26歳未満の「ジュニア」部門、21歳未満の「ヤングスター」部門、そして今回新設の26歳未満の女性限定の「ヤングレディース」部門の3部門で競われますが、JCBLではジュニア部門に代表選手6名を派遣しています。

[日本代表チーム] NPC:寺本直志

選手:横井大樹、三浦裕明、中山尚純、後藤田俊輔、伊井康朗、貴戸祥郎

[参加チーム総数] 18チーム(17ヶ国・地域)

フランス、ドイツ、イスラエル、イタリア、オランダ、ノルウェイ、ロシア、スウェーデン、カナダ、USA①、USA②、アルゼンチン、ブラジル、インド、オーストラリア、中国、香港、日本

●10月30日と31日、名古屋で体験教室

10月最後の週末、石坂杯・中日杯の会場で体験教室を開催します。10/23配付の『リビング名古屋』に参加者募集広告を掲載しますが、名古屋在住のお知り合いへのお声掛けを宜しくお願ひします。

※ 参加者全員に恒例のカードとミニパンフレット進呈のほか、広告が掲載されたリビング紙持参の方には、さらに特製メモ帳をプレゼントします。

[日時]

10月30日(土) 13:30~18:00

31日(日) 10:30~15:30

[会場] 名古屋商工会議所2階「名商グリル」(地下鉄伏見駅、徒歩5分)

●11月6日と7日、「あつ晴れ！おかやま国文祭」でブリッジ体験ブース！

1986年、日本最大の文化の祭典、国民文化祭(略して「国文祭」)が初めて開催された都市は東京でした。以後 25年間、毎年各都道府県の持ち回りで開催されています。JCBLは、全国にブリッジを広めるとても良い機会ととらえて第1回目から毎年参加しています。今年は、岡山県です。国民文化祭の多岐にわたるイベントの中でも「生活文化・暮らしと味わい総合フェスティバル」という催しものの一環としてブリッジブースを出展します。地元プレイヤーの皆さんに手伝っていただいて体験教室やブリッジデモンストレーションを行い、広くブリッジを紹介します。

“覚えて遊ぼう！ブリッジ体験教室”

[日時] 11月6日(土)、7日(日) 10:00~16:00

[会場] 岡山市桃太郎アリーナ(岡山県総合グラウンド体育館)

国民文化祭「生活文化・暮らしと味わい総合フェスティバル」会場内

※ JR岡山駅西口からバスで約10分

国文祭は、県全体が力を入れて取り組む一大行事であり、集客をはかるための広報活動も地元メディアを挙げて行われます。ブリッジブースにもたくさんの来場者があります。そこでブリッジを初めて知る方がほとんどですが、「以前やっていたので懐かしくて…。」と言って来られるスリーピングプレイヤーの方も中にはいらっしゃいます。地元の方との交流が始まり、再開されることもしばしば。今年はどのような「出会い」があるでしょうか。

岡山にお住まいのお知り合いにぜひご案内ください。こちらもリビング紙(10/30配布号)に参加者募集広告をだし、掲載紙持参の方に特製メモ帳を進呈します。

●ブリッジ・インストラクターによる紹介活動あれこれ

大船在住のブリッジ・インストラクターさんが神奈川ロータリークラブのお招きで11月1日、約60名の同クラブ会員に、同じく同26日には「イギリス文化に親しむ会」の約50名の会員にブリッジを紹介することになりました。相次いでの依頼にご本人もびっくり。ブリッジに関心を持つ人が増えてきたということだからと両方頑張ってくださるそうです。

4月に福岡大学で行われた307名の学生対象のブリッジ紹介講座や長崎のブリッジ・インストラクターさんが10月に100名を対象に実施する「長崎県すこやか長寿大学校」ブリッジ紹介講座など、最近はこのように一举に多数の方にブリッジを紹介する機会が増えてきています。どのような大人数でも普及事業部では最大限の支援をしますのでご連絡ください。

●函館でブリッジが紹介されました！

昨年の夏、函館で友達3名と個人宅に集まりブリッジをしているという方がJCBL事務局を訪ねてみました。そこから時折の情報交換が始まり、その方々のご尽力のおかげでこの9月20日、とうとう函館でブリッジが一般の方の目に触れる機会に至りました。函館YWCAがカルチャー講座を紹介する「YWCA文化祭」というイベントでのブリッジ体験コーナーでした。地元メディアにも採りあげられました。先ず北海道新聞（9/14付）の開催告知コーナーに「ブリッジ」の文字が登場、そして文化祭当日の模様を伝えた9月21日の函館新聞には『…今回の同祭の目玉は、今年10月から市内で普及させようと活動している「コントラクトブリッジ」の体験コーナー。4人のプレイヤーがトランプを使って推理・判断・記憶・協調性をフルに発揮していく競技で、「脳トレ」にも役立つと老若男女がこぞって参加していた。同ゲームに参加した市内の女性（70）は、「最初はルールを覚えられるか不安だったが、とても楽しかった。今度は孫にも教えて一緒にやってみたい」と話していました。』と写真付で大きく掲載されました。10時半から12時半の2時間で小学6年生を含む計10名が体験、地元FM局でも15分紹介されたとのことです。YWCAでは引き続き、10月9日と16日に「ブリッジお試し講座」を行い、本格的に講座導入を検討してくださることになりました。「動き」だと何かにつながります。文化祭当日、函館在住で札幌までブリッジをしに行っている方がブリッジコーナーを訪れるという「出会い」がありました。お互いに仲間ができたことを喜びあい、9日のお試し講座で早速お手伝いに駆けつけてくださったそうです。ブリッジの輪が函館でもどんどん広がっています。

函館にお知り合いがいらっしゃいましたら、ぜひ「函館でもブリッジができるようになった」とご案内いただきたく、宜しくお願いします。

●横浜市緑区長津田地区センター 講座開催からクラブ設立へ！

横浜市緑区の『長津田地区センター』で7月から9月にかけて全く初めての方対象のブリッジ講座が開催され、終了後もさらにブリッジを続けたいという熱心な受講生16名の皆さんにより、10月から「みどりCBC」として同好会が設立されることになりました。同地区にお住いの会友さんから開講に向けてのご相談をいただいたのが今年3月。そして5月からの募集期間を経て7月に開講（受講者22名）、今回の同好会設立と、大変スピーディな展開となりました。

この講座は地区センターの方から会友さんへの「自主事業としてブリッジ講座を開講したいがノウハウがないので支援をお願いしたい」という依頼により、計画がスタートしました。ご相談を受けたJCBL普及事業部では、一人でも多くの参加者が集まるようできる限りのお手伝いをしたいということで、募集段階でのチラシデザイン作成と印刷、各種広報資料の提供、助成規定を適用しての講師料助成などの面で支援をさせていただきました。

今回のケースは「講座の主催者＝地区センター」と、「実質的な運営面すべてを引き受けたださった会友の方」がスムーズに連携して、広報開始から募集受付、スタッフ配置、開講まで万全の計画で進めてくださったことや、メイン講師を務めてくださったブリッジ・インストラクターさん、アシスタントとしてサポートしてくださった方々の熱意あふれる講師陣によって参加者皆さんにブリッジの楽しさを十分伝えていただけたこと、そこに「必要に応じてのJCBLからの側面支援」が加わり、自主クラブの設立という最上の結果を得ることができたものと考えています。

講習会を開きたいとお考えのブリッジ・インストラクターの皆様、「どのように準備をすれば良いのか？」「参加者をたくさん集めるには？」「JCBLにはどんな支援メニューがあるの？」などなど、お悩みの前にどうぞJCBLへご相談ください。まずはお話を聞かせていただき、何をどのようにお手伝いすれば良いか、ご一緒に考えていきたいと思います。「講座を開くこと」のハードルを少しでも低くするのが普及事業部の役目です。皆様からのご相談、お待ちしております。

●「和楽」11月号に2ページのブリッジイメージ広告掲載中！

月刊誌「和楽」11月号（小学館、定価1,300円）にブリッジのイメージ広告を見開き2ページで掲載中。“美と知と心のハイライフマガジン”がキャッチコピーの「和楽」は全国の書店で販売されています。ぜひお手にとってご覧ください。

※各ブリッジセンター＆常設会場に掲載誌を置いていただいているのでぜひご覧ください。広告コピーをご希望の方は事務局までご連絡ください。

●スカイマーク機内誌 11月号にブリッジ記事広告！

スカイマーク航空の機内誌「SKYMARK」にちょっと目をひくブリッジ記事広告を11月の1ヶ月間載せます。

キヤッチコピーは「旅の空き時間が、最高の時間になった。」。3ヵ月シリーズの広告第一弾でタイトルは「Travel×カード Vol.1」、ブリッジの歴史とゲームの概要を簡単に説明しています。

※各ブリッジセンター＆常設会場に掲載誌を置いていただいているのでぜひご覧ください。広告コピーをご希望の方は事務局までご連絡ください。

●早稲田大学ブリッジ授業4期目スタート！

早稲田大学のブリッジ授業「コントラクトブリッジで学ぶ数理科学入門」4期目が9月30日にスタートしました。（履修登録者：24名）。

東京大学「考える力を養う～コントラクトブリッジ」10期目は10月18日のガイダンス後にスタートします。ブリッジをきちんと学ぶ若い人たちが着実に増えています。

●ミニJCBLハンドブック「Welcome to JCBL～新入会の皆様へ」配布開始

前回ご紹介したJCBLハンドブックの簡易版「Welcome to JCBL～新入会の皆様へ」が完成、新入会された方への配布を開始しました。ブリッジの基本情報を取りまとめた「ハンドブック」の内容のなかでも、「これだけは知っておいてほしい」という超基本的な事項を選んでまとめた小冊子です。新入会の方以外でも必要とされる方があればお渡しします。各ブリッジセンター、常設会場を持つクラブに常備していただきますが、行く機会がない方には直接お送りしますので事務局までご連絡ください。

[概要]

- ・JCBLの会友について
- ・ブリッジ用品
- ・ゲームに参加するために
- ・マスターポイントとシードポイント
- ・Q&A

